

調査企画書（案）

1 調査

(1) 町民アンケート

① 調査の概要

幅広い町民の移動実態やニーズ等を把握するため、調査対象を5つに類型化（(a)小学生、(b)中学生、(c)16～18歳、(d)19～69歳、(e)70歳以上）し、アンケート調査を実施する。

② 調査票の設計方針

【設計目的】

- ・町民の移動実態の把握
- ・公共交通リテラシーの把握
- ・スクールバスに対する評価（小学生・中学生）の把握
- ・町民の公共交通に対する潜在ニーズの把握
- ・町民の将来の公共交通のあり方に関する意向の把握

【回収率向上及び回答者負担軽減策】

- ・選択式の多用、Webアンケートでの実施・併用
- ・アンケート依頼状への押印
- ・ビッグデータの活用（(d)19～69歳）
- ・学校や町会などの組織を通じた調査（(a)小学生、(b)中学生、(e)70歳以上）

③ 調査結果の集計・分析及び利活用方法

- ・公共交通サービス（路線網、運行頻度等）の見直し、改善方策の検討
- ・スクールバスの改善方策の検討
- ・公共交通への利用転換策の検討
- ・公共交通のあり方の検討

表 町民アンケートの概要

主体	対象	調査票 配布・回収方法	主なねらい	移動 実態	スクール バスへの 評価※1	潜在 ニーズ ※2	将来の 交通の あり方
(a)小学生	町内の小学校に通学する児童（約1,100人：全数）	学校を通じて配布・回収 【Webのみ】	・小学生の通学・送迎（習い事等）実態を把握 ・スクールバス利用者のニーズを把握 →送迎を含めた通学対策のあり方を検討	○	○	—	—
(b)中学生	町内の中学校に通学する生徒（約630人：全数）	学校を通じて配布・回収 【Webのみ】	・中学生の通学・送迎（習い事等）実態を把握 ・スクールバスのニーズを把握	○	○	—	—
(c)16～18歳	16～18歳の町民（約90人：抽出（地区別比例配分））	郵送による配布・回収（雄山高校生は回答不要） 【Web併用】	・町に在住の高校生の通学実態を把握 ・公共交通の改善ニーズ、公共交通への利用転換条件を把握	○	—	○	—
(d)19～69歳	19～69歳の町民（約1,140人：抽出（地区別比例配分））	郵送による配布・回収 【Web併用】	・19～69歳の町民の公共交通の潜在ニーズを把握 ・将来の公共交通のあり方に関する意向を把握	— ※3	—	○	○
(e)70歳以上	70歳以上の町民（約750人：抽出（地区別比例配分））	自治会・町内会を通じた配布・回収 【Web併用】	・70歳以上の町民の移動実態・公共交通の潜在ニーズを把握 ・将来の公共交通のあり方に関する意向を把握	○	—	○	○

※1：スクールバス利用者、※2：公共交通非利用者、※3：ビッグデータにより詳細に把握

④調査項目

※回答方式 凡例：SA（択一回答）、MA（複数回答）、FA（自由回答）

項目	設問内容	回答方式	(a)小学生	(b)中学生	(c)16-18歳	(d)19~69歳	(e)70歳以上	備考
回答者の属性	1 性別	SA				○	○	
	2 年齢	SA				○	○	
	3 居住地	FA	○	○	○	○	○	小学生はSA
	4 職業	SA			○	○	○	
	5 自宅から直近の駅（バス停）・交通手段・徒歩所要時間	FA	○	○	○	○	○	
	6 外出の際に必要な補助具	MA	○	○	○	○	○	
	7 運転免許の所有状況	SA				○	○	
	8 運転の継続意向	SA				○	○	
	9 公共交通の利用頻度 → 数値指標の収集	SA	○	○	○	○	○	
	10 公共交通の利用目的	SA	○	○	○	○	○	
	11 PC・スマホ等の利用状況	MA	○	○	○	○	○	
移動実態	1 頻度	SA	○	○	○	*	○	おでかけ目的ごとに回答：通勤・通学、買い物(私事)、通院
	2 目的地	FA	○	○	○	*	○	
	3 交通手段	MA	○	○	○	*	○	
	4 時間帯	SA	○	○	○	*	○	
スクールバスに対する評価	1 自宅からバス停までの距離	SA	○	○				それぞれ5段階評価
	2 運行本数	SA	○	○				
	3 運行時間	SA	○	○				
	4 学校、自宅間の所要時間	SA	○	○				
	5 運行時間の正確さ	SA	○	○				
	6 バス停や車両利用の快適さ	SA	○	○				
	7 スクールバスの総合的な満足度	SA	○	○				
スクールバス改善要望	1 スクールバスに対する改善要望	MA	○	○				
公共交通の潜在ニーズ	1 公共交通への利用転換可能性	SA			○	○	○	
	2 利用転換に当たってのハードル（条件）	MA			○	○	○	
施策要望	1 公共交通施策に対する要望	MA			○			
将来の公共交通のあり方に関する意向	1 公共交通の必要性に関する意向	MA				○	○	
	2 公共交通サービスの維持のあり方に関する意向	MA				○	○	
	3 公共交通を持続的に運行していくために、地域や個人で可能な取組	MA				○	○	
	4 過度に車に依存せず公共交通を利用する生活にするために必要な取組	MA				○	○	
自由記入	公共交通、(スクールバス)に関する自由意見	FA	○	○	○	○	○	

* 19～69歳の移動実態はビックデータにより詳細に把握。ここでは次問の前段として外出全般の設問を一部設置。

(2) OD 調査 (バス)

① 調査の概要

公共交通利用が少ない本町においては、町民アンケート調査等のみでは公共交通利用者の移動実態が十分に把握できないことから、町内を運行するバスを対象としてOD調査を実施する。

- ・ 地鉄バス：調査員（車内）による聞き取り方式により実施する（平日1日のみ）
※休日は、乗降調査を参考とする。
- ・ 町営バス：全便を対象として、運転手の目視による調査を2週間程度（平日10日程度）実施する。

② 調査票の設計方針

【設計目的】

- ・ 系統別・ダイヤ別・バス停別の利用実態の把握

【回収率向上及び回答者負担軽減策】

- ・ 利用者が多い地鉄バスでの調査員による聞き取り方式（全数把握）
- ・ 利用者が少ない町営バスでの運転手目視調査（全数把握）

③ 調査結果の集計・分析及び利活用方法

- ・ 公共交通サービス（路線網、運行頻度等）の見直し、改善方策の検討

④ 調査項目

項目	設問内容	備考
属性	1 性別 2 年齢 3 目的	
移動実態	1 乗車バス停 2 降車バス停	

(3) 地域公共交通利用者アンケート

① 調査概要

多くの公共交通利用者の移動実態やニーズ等を把握するため、鉄道利用者、バス利用者を対象に利用者アンケート（WEB 併用）を実施する。なお、配布方法は以下のとおり。

a) 地鉄電車：調査員による調査票の手渡しによる配布、郵送回収

配布場所：寺田駅、五百石駅、榎町駅、釜ヶ淵駅、岩嶺寺駅、千垣駅、立山駅
配布日：平日半日

b) 地鉄バス：バス車内への調査票の設置による配布・郵送回収、配布 1 日程度

c) 町営バス：運転手による調査票の手渡しによる配布・郵送回収、配布 10 日程度

d) タクシー：運転手による調査票の手渡しによる配布・車内及び郵送回収、配布 1 週間程度

② 調査票の設計方針

【設計目的】

- ・利用者の移動動態の把握
- ・駅勢圏・バス停勢圏の把握
- ・利用者の公共交通に対するニーズの把握
- ・公共交通施策に対する要望の把握

【回収率向上及び回答者負担軽減策】

- ・選択式の多用、Web アンケートの併用、町ホームページへの掲載（すべてのアンケート）
- ・調査票の手渡し（地鉄電車、町営バス）

③ 調査結果の集計・分析及び利活用方法

- ・公共交通サービス（路線網、運行頻度等）の見直し、改善方策の検討

④ 調査項目

※回答方式 凡例：SA（択一回答）、MA（複数回答）、FA（自由回答）

項目	設問内容	回答方式	(a)地鉄電車	(b)地鉄バス	(c)町営バス	(d)タクシー	
回答者の属性	1 性別	SA	○	○	○	○	
	2 年齢	SA	○	○	○	○	
	3 居住地	SA/FA	○	○	○	○	
	4 職業	SA	○	○	○	○	
	5 自宅から直近の駅（バス停）・所要時間	SA/FA	○	○	○	○	
	6 外出の際に必要な補助具	MA	○	○	○	○	
	7 運転免許の所有状況・車利用の自由度	SA	○	○	○	○	
	8 車の使用状況	SA	○	○	○	○	
	9 PC・スマホ等の利用状況	MA	○	○	○	○	
	10 キャッシュレス決済の利用状況	SA	○	○	○	○	
移動実態	1 路線	SA		○	○		
	2 主な目的	SA	○	○	○	○	
	3 利用時間帯	SA	○	○	○	○	
	4 目的地	FA	○	○	○	○	
	5 他の交通手段	MA	○	○	○	○	
	6 利用頻度	SA	○	○	○	○	
	7 利用する理由	MA	○	○	○	○	
公共交通への評価（満足度）	<電車・バス>						
	<タクシー>						
	1 運賃、料金	車内の清潔感・快適性	SA	○	○	○	○
	2 自宅から駅（バス停）までの距離	予約・呼出・拾いやすさ	SA	○	○	○	○
	3 目的地から駅（バス停）までの距離	目的地までの速さ（乗車時間）	SA	○	○	○	○
	4 待合環境の快適さ	運賃・料金	SA	○	○	○	○
	5 待合施設や車両のバリアフリー	運賃の決済方法	SA	○	○	○	○
	6 乗車する車両の混雑度	運転手の接客	SA	○	○	○	○
	7 目的地までの速さ（乗車時間）	総合的な満足度	SA	○	○	○	○
	8 運行ダイヤ（利用できる時間）		SA	○	○	○	
	9 運行本数（利用できる本数）		SA	○	○	○	
	10 鉄道との乗り継ぎ		SA	○	○	○	
	11 路線バスとの乗り継ぎ		SA	○	○	○	
	12 運行情報のわかりやすさ		SA	○	○	○	
13 運行ルート		SA		○	○		
14 総合的な満足度 → 数値指標の収集		SA	○	○	○		
施策要望	1 公共交通施策に対する要望	MA	○	○	○		

(4) その他アンケート調査

① 調査概要

主な3つの外出目的ごと(通学、通勤、買い物)に移動実態やニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施する。「関係団体等の意向把握調査」を合わせて実施することにより、調査段階から各種団体を通じた協力を依頼することで、計画策定に向けた地域の協力体制の構築に寄与する。

【対象】

- (a)雄山高校生：生徒全員
- (b)主要企業通勤者
 - ・従業員200人以上3事業所の通勤者
 - ・鉄道沿線かつ一定数以上の従業員がいる4事業所の通勤者

② 調査票の設計方針

【設計目的】

- ・利用者の移動動態の把握
- ・町民の公共交通に対する潜在ニーズの把握

【回収率向上及び回答者負担軽減策】

- ・選択式の多用、Webアンケートでの実施
- ・学校や企業などの組織を通じた調査

③ 調査結果の集計・分析及び利活用方法

- ・公共交通サービス(路線網、運行頻度等)の見直し、改善方策の検討
- ・公共交通への利用転換策の検討

表 その他アンケートの概要

項目	対象	調査票 配布・回収方法	主なねらい	移動 実態	公共交 通への 評価※1	潜在 ニーズ ※1	将来の 交通の あり方
(a)雄山 高校生	雄山高校生 (約400人：全数)	学校を通じた配 布・回収 【Webのみ】	・雄山高校生の通学実態を 把握 ・公共交通の改善ニーズ、公 共交通への利用転換条件 を把握	○	—	○	—
(b)主要企業 通勤者	町内に立地する従 業員数が多い企業 の社員等	企業を通じた配 布・回収 【Webのみ】	・通勤者の公共交通の潜在 ニーズ、公共交通への利用 転換条件を把握	— ※2	—	○	—

※1：公共交通非利用者、※2：ビッグデータにより詳細に把握

④ 調査項目

項目		設問内容	回答方式	(a) 雄山高	(b) 通勤者	備考
回答者の属性	1	性別	SA		○	
	2	年齢	SA		○	
	3	居住地	FA	○	○	
	4	職業	SA			
	5	自宅から直近の駅（バス停）・交通手段・徒歩所要時間	SA/FA	○	○	
	6	外出の際に必要な補助具	MA	○	○	
	7	PC・スマホ等の利用状況	MA	○	○	
移動実態	1	頻度	SA		○	対象別に、通学、通勤、買い物のみ
	2	目的地	SA		○	
	3	交通手段	MA	○	○	
	4	時間帯	SA	○	○	
公共交通の潜在ニーズ	1	公共交通への利用転換可能性	SA	○	○	
	2	利用転換に当たってのハードル（条件）	MA	○	○	
施策要望	1	公共交通施策に対する要望	MA	○	○	
自由記入	1	公共交通に関する自由意見	FA	○	○	

(5) 業務工程及び実施体制

表 業務工程

項目	対象	配布方法	方式	7月	8月	9月	10月	11月
町民アンケート	(a)小学生 1,100人 (b)中学生 630人	学校	Webのみ		対象抽出、設計		配布・Web回収 分析	
	(c)16-18歳 90人 (d)19~69歳 1,140人	郵送	Web併用		住基抽出、設計		配布・郵送回収 入力	分析
	(e)70歳以上750人	自治会	Web併用		住基抽出、設計		配布・郵送回収 入力	分析
OD調査	町営バス	運転手	実査		依頼、設計		実施 入力	分析
	地鉄バス	調査員	実査		依頼、設計		実施 入力	分析
地域公共交通利用者アンケート	鉄道	調査員	Web併用		依頼・設計		配布・回収 入力	分析
	地鉄バス	車内設置	Web併用		依頼・設計		配布・回収 入力	分析
	町営バス	運転手	Web併用		依頼・設計		配布・回収 入力	分析
	タクシー	運転手	Web併用		依頼・設計		配布・回収 入力	分析
その他調査	雄山高校生	学校	Webのみ		依頼・設計		配布・Web回収 分析	
	町内に立地する従業員数が多い企業の社員等	企業	Webのみ		対象抽出、設計		配布・Web回収 分析	

2 交通事業者、関係団体等の意向把握調査

① 調査方法・対象

公共交通を支える事業者のリソース（運転手数や保有車両台数等）や運行上の課題、公共交通の課題等を把握するため、町内で営業している交通事業者及び役場関係者（概ね 10 社）、送迎サービス事業者（福祉事業者、医療事業者等概ね 20 社）等を対象に、アンケート調査を実施する（必要に応じてヒアリングにて補足）。

併せて、今後の他分野との協働による施策展開の可能性を把握するため、連携可能性のある多様な分野の事業者（商業、観光、企業等概ね 40 社）を対象に、アンケート調査を実施する（必要に応じてヒアリングにて補足）。

調査意向対象者（案）

大項目	項目	対象数
交通事業者 ※役場関係者含む	鉄道事業者	1 社程度
	バス事業者	5 社程度
	タクシー事業者	5 社程度
送迎サービス事業者	送迎サービス事業者	20 社程度
連携事業者	商業施設	7 社程度
	観光施設	10 社程度
	主要企業	7 社程度
	医療施設	17 社程度

② 調査票の設計方針

【設計目的】

- ・送迎サービスの状況の把握 ※1
- ・公共交通を支える事業者のリソース（運転手数や保有車両台数等）の把握 ※2
- ・運行サービスの収支状況の把握 ※2
- ・公共交通の運行上の課題の把握 ※2
- ・関係者からみた公共交通のあり方や改善点等の把握 ※2
- ・今後の施策展開の可能性の把握 ※3

※1：送迎サービス事業者のみ

※2：交通事業者、役場関係者、送迎サービス事業者

※3：連携可能性のある事業者のみ

【回収率向上及び回答者負担軽減策】

- ・キーワードの例示等による自由回答の誘導、Web アンケートの併用
- ・アンケート依頼状への押印

③ 調査結果の集計・分析及び利活用方法

- ・公共交通サービス（路線網、運行頻度等）の見直し、改善方策の検討
- ・具体的施策の検討
- ・公共交通のあり方の検討

④ 調査項目

※回答方式 凡例：SA（択一回答）、MA（複数回答）、NA（数量回答）、FA（自由回答）

項目	設問内容	回答方式	(a) 交通事業者	(b) 送迎事業者	(c) 連携事業者	備考
事業者の基本情報	1 企業名称	FA	○	○	○	
	2 回答者の所属、氏名	FA	○	○	○	
サービスの状況	1 有償・無償の別	SA		○		
	2 年間利用者数（延べ）	NA	○※2	○		
	3 年間稼働日数	NA		○		
	4 主な利用者像	FA	○※2			
	5 主な送迎先	SA	○※2	○		
	6 利用者（社員）の交通手段の傾向	NA			○	
	7 運行サービスに対する主な利用者（社員）の要望	FA	○	○	○	
	8 交通に関する企業の取組	FA			○	
	9 近年の運行サービスの収支状況	SA	○※2	○		
運行体制の状況	1 車両保有台数（種別ごと）	NA	○※1	○		
	2 運転手数（免許種別、うち高齢者、うち兼任）	NA	○	○		→ 数値指標の収集
	3 運行実績等の管理方法（IT化の状況）	SA	○	○		
運行サービスの課題	1 運行サービスの主要課題（最大3つ）	MA	○	○		
	2 最大の課題の具体的な内容	FA	○	○		
将来の公共交通のあり方	1 本町の公共交通の問題点・改善策	FA	○	○		
公共交通との連携可能性	1 公共交通の担い手としての連携可能性に関する意向	SA			○	
	2 公共交通の支え手としての連携可能性に関する意向	MA			○	
自由記入	公共交通に関する自由意見	FA	○	○	○	

※1 鉄道事業者を除く ※2 タクシー事業者のみ